

林間学校をふまえた総合人間科

渡 辺 武 志・長瀬加代子
原 英 俊・仲 田 恵 子
原 順 子

【抄録】 総合人間科はほぼ隔週2単位で実施されている。中学2年生は「生命と環境」をテーマに、生徒がさまざまな研究を半期ずつ、もしくは1年間おこなっており、内容と実践は本校紀要で紹介されている。今年度は、行事日程の変更で、夏休みに行われていた林間学校が5月の授業期間中に行われることになった。この内容は林間学校をふまえた総合人間科についての報告である。

【キーワード】 林間学校、しおり、グループ研究、林間学校振り返りアンケート、ポスター作り

1 学習計画

今年度は5月21日（水）～23日（金）に林間学校（乗鞍高原）が行われた。準備には週1単位でそれぞれ行われる生活とLTが使われる。しかし、林間学校までに生活とLTの時間は4時間で放課後にも作業が必要となる。

そこで学年団は、林間学校の目的の1つが自然に親しむであり、総合人間科「生命と環境」のテーマにからむことから、

1. グループによる林間学校しおり作り

2. 生命と環境をテーマとした個人研究

の2本を柱に研究をすることとなった。これにより林間学校が総合人間科の1つの柱として位置づけることとなった。

年間計画は次の通り。

日	時	活 動 内 容	場 所	備 考
4/10(木)	5. 6	「生命と環境」についてのオリエンテーション 林間学校の内容日程の説明 班決め：班の中の係決め、テーマ決め	5. 第1総合 6. 各教室	
4/17(木)	5. 6	各班のテーマ決め・調査開始 乗鞍・高山・上高地・白川郷	図書室 第1総合	一クラス2人の教官が担当
5/15(木)	5. 6	5. しおり完成 6. しおり説明	5. 教室 6. 第1総合	
6/5(木)	5. 6	簡単なアンケート調査・感想文 各班で決めたテーマのまとめ及び 研究収録（前半）の作成	教室 他	
7/3(木)	5. 6	合同発表会、個人テーマについて	第1総合	まとめの発表
夏季休暇		個人テーマを絞り込むためのスクラップブック作り	第1総合	ブックを配布
9/11(木)	5. 6	個人テーマの絞り込み、調査	PC、図書室	
9/25(木)	6	個人テーマ最終決定	教室	
10/2(木)	5. 6	テーマ、訪問先についての下調べ開始		スクラップブック 今週中に決定
10/9(木)	5. 6	フィールドワーク（以下FW）の アポイントメント取得開始（報告要旨）	教室	ワークシート2種類に記入 今週中に決定

10/23(木)	5. 6	質問項目決定、依頼状作成開始 *11/6までに完了	教室	ワークシート二種 便箋・封筒・切手
11/6(木)	5. 6	F. W.		
		お礼状作成 (L T・道徳を使って)	教室	ワークシート・便箋・封筒・切手
11/20(木)	5. 6	報告書作成	教室	
12/4(木)		報告書完成	教室	発表資料も作成
1/15(木)	5. 6	F. W. 発表会兼印刷部に原稿提出	第1 総合	作成
2/19(木)	5. 6	1年間のまとめ	第1 教室	
3/4(木)	5. 6	中学3年生の研究発表	第1 教室	

2 グループ研究

2.1 しおり作り

中学2年生は昨年度、研究に必要とされる基本的なスキルを身につけている。そこで、林間学校のしおり作りは、個人研究の前段階として、グループ研究となった。研究内容は林間学校のしおり作りで、林間の日程にある乗鞍高原や白川郷などに関する豆知識を、生命と環境から調べて研究することになった。研究内容はグループごとに自由に決定した。

A組

- 1 班 カリーライス いろいろ
- 2 班 おみあげについて
- 3 班 カップ橋について
- 4 班 白川郷について
- 5 班 乗鞍の植物について

B組

- 1 班 乗鞍高原の生物について
- 2 班 The 温泉
- 3 班 乗鞍の美味しい食べ物
- 4 班 乗鞍の花・植物
- 5 班 美味しい牛の育て方

この班は、各クラス40人を出席番号順に8人ずつにわけて5班とし、それぞれのテーマにもとづいて研究をした。それぞれの班には班長、飯ごう炊さん係、レク係、しおり係を各一人ずつ決めて、しおり係のものは執筆者として、また係でないものはその資料作りの中心メンバーとして動いた。

しおり完成の段階で中2全体でしおりの読みあわせを行い、豆知識についてはそれぞれ調べた班の生徒たちがその場で成果を発表した。

なお、しおりの豆知識と研究集録にはグループ研究の内容が掲載された。

(林間学校しおりの一部)

THE 温泉	B組 2班
--------	-------

1. 温泉ってどう決まるの??

法律に『温泉法』ってのがあって、それに基づいて決めてるんだ。その内容がこちら! ↓ ↓ (言葉が簡単にしてあります)

温泉法…温泉とは地中から湧き出す温水、鉱水および水蒸気その他ガスで、含まれる物質として19種類のうち一つ以上が定められた基準を上回っているか、または水温が25℃以上。

19種類の物質が書ければ良いんだけどとても多いので知りたい人は、2班まで。

2. 乗鞍の温泉ってどんなの??

特徴: お湯は硫酸分が酸素に触れ白濁色のお湯。

酸性が強いのので皮膚の病気にとても効く。

注意: 金属を持って入るとすぐに変色する。



実は、ヴィラ乗鞍は温泉

だけど、アルプスの天然水を使っているので肌に柔らかなお湯なんだよ。サウナもついているんだよ~☆ ♪水温泉?

3. ここでQ&A!

Q: 海水をあたためれば温泉になるの??

A: 成分としてはオーケー。でも、基準では温泉は、地下から湧き出す物規定されているから、結局はダメなんだ~。

Q: 温泉って飲んでいいの??

A: 基本的には、飲むことは出来るんだよ。でも、ヒツ素やフッ素…の有害の成分も入ってるんだ。でも、これらは人が生きて行くのに大切な物だよ。飲むことも、温泉の効能なんだ。

そのほか、入浴の仕方とかも調べたから聞きたい人は、いつでも来て!!

END

3 個人研究

3.1 夏休み前の課題

総合人間科の個人研究のスタートは林間学校の事後指導などで7月からとなった。このため準備期間は夏休みのみとなる。学年団では中学1年生で学習した基本的なスキルが身に付いていることから、次の課題をだした。

～夏休みの課題～

課題：テーマ”生命と環境”を題材に、自分が興味ある分野の新聞記事を10日分集めること。

生徒は、”生命と環境”から自分自身のテーマ決めに、おおよそ2つにわかれるようだ。

1つはどのような内容でもよいという感覚をもっている柔軟に決定する生徒で、もう1つは難しい内容や生徒のこだわりからフィールドワーク先の決定が遅れた生徒である。特に後者は、調べることが専門的な内容のために、新聞にその調べたい内容が掲載されていないことが多い。だから内容によっては、新聞だけでなくW.W.W.などを利用しさまざまな情報を利用することが今後の宿題の出し方に活かせると考える。

このような宿題をだすときは以後

“生命・環境を題材に、自分の興味がある分野について新聞記事、W.W.W.、文献などの資料を事前研究ができる程度まで集めること”

とすると、生徒の夏休みの調べ学習に対応できると考える。ただし、専門的なテーマで難しいときは、夏休み中でもアドバイスができるような体制にしておくことが大切である。

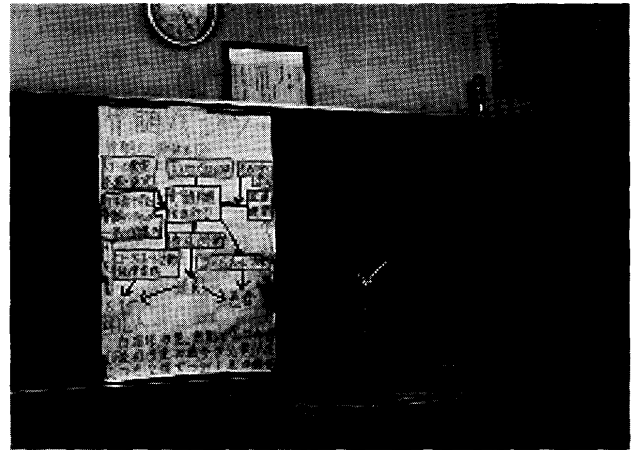
3.2 個人研究

9月からはフィールドワークを中心とする課題探求活動を個人で行った。フィールドワークまでの総合人間科

は5回（10時間）であり、少ない時間で行うため、学習計画を考えながら、足りない時間は放課後や家庭学習でおぎなうなどの自主的な学習が求められた。個人研究の流れは年間計画で示されている。

なお、この学年は前年度、フィールドワーク前にプレ研究を行い、生徒たちがその準備を通じて質問内容を考える事前の準備を行っている。そのため、下調べについて、事前準備は生徒たちの自主学習とし、プレ研究は実施せずにフィールドワークを行った。ほとんどの生徒は事前準備に対する熱意がみられたが、理解が不足している生徒は準備不足になるなど、生徒によってフィールドワークに対する熱意の差が感じられた。

なお、フィールドワークの目的の1つとして、フィールドワーク先へ訪問することが、事前研究での学習と現場の実際との違いからより深く学習することができるのが総合学習の特徴である。今回は生徒にフィールドワー



クをすることの重要性を認識する必要がある。

発表はLT・道徳をそれぞれ使ってクラス単位で行った。発表時間は5分から10分であった。発表では、学年通信でアナウンスをし保護者にも来ていただき、発表をおこなった。

発表形式はB紙などや、発表に必要な機材や道具を大変工夫して作るなど、教員が驚くような工夫がみられた。フィールドワーク先は次の通り

中学2年生総合人間科フィールドワーク

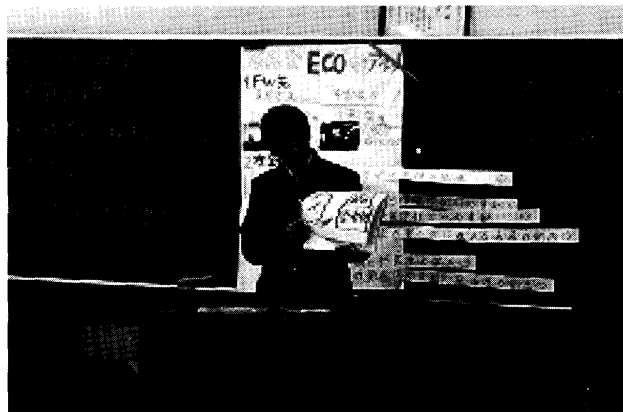
(○は環境に関するテーマその他は生命に関するテーマ)

A組

	研 究 テ ー マ	訪 問 先
	自閉症 自殺	よつば相談室 名大病院
	小児がん	がんの子供を守る会 東海支部
○	食品添加物について	名古屋市衛生研究所

	障害者の音楽とスポーツについて	重度身体障害者の会 かみふうせん
	幼児虐待	CAPNA
	障害者としての生き方	中村区障害者地域生活センター
○	水素自動車	名古屋工業大学 (材料工学)
○	子供を取り巻く環境	尾張旭市児童相談所
○	植物を用いた土壌修復	名古屋大学生命農学研究科 竹中千里 教授
○	新エネルギー	三洋電機
	クローン牛	名古屋大学大学院生命農学研究科
	子供が運動能力低下しているのになぜ陸上記録が伸びるのか	総合保健体育科学センター
○	屋上緑化 ヒートアイランド現象の対策	名古屋大学大学院環境学研究科
	動物の行動学	
	SARS について	愛知県健康福祉部健康対策課感染症グループ
	薬と生命について	名古屋処方箋調剤薬局平針店
	命の大切さを伝える	小出隆司
○	地球温暖化防止策	名古屋市環境局環境都市推進課
	お年寄りの虐待	CAPNA
	緊張してあがっちゃうことについて	名古屋大学医学部附属病院
	医療・福祉ロボットについて (生命)	名古屋工業大学 知能情報システム
	「自殺への道」 生命と心理的なこと	愛知・名古屋 いのちの電話協会に
	スポーツ栄養学	名古屋スポーツ専門学校
○	自然環境の変化による生態の変化	名古屋大学大学院 環境学研究科
	生命と環境とタバコ	永田内科クリニック
	身体と環境にやさしい食事法	Faim 株式会社ヴェルシー
	ピースボール	ピースポートセンター名古屋
○	オゾン層	名古屋大学環境学研究科
○	ピオトープについて	東郷町役場
	人の心理について～心配性について～	名古屋大学附属病院 (精神科)
	選手を助けるスポーツトレーナー	トヨタスポーツセンター
○	人間と自然の共存	エコワークス・紀藤 敦子
○	電気自動車の必要性	日本EVクラブ愛知事務所
○	バイオマス	
	不眠症について	総合保健体育科学センター
	障害者を支える人々	
	心臓病と臓器移植のこと	日本臓器センター中日本支部
○	資源のリサイクル	名古屋市リサイクルセンター
	動物の命	動物愛護センター
○	遺伝子組み換え食品	名大生命農学研究科

発表の様子



B組

B		がんについて	愛知県がんセンター
B		呼吸ダイエット	中根ダイエット呼吸研究所
B		スポーツと健康	名古屋YMCAスポーツ英語専門学校
B		日本の淡水魚の危機（外来種の影響）	東山動植物園内動物会館
B		DNAの不思議	
B		絶滅しそうな動物、ユキヒョウについて	東山動物園内動物会館
B	○	土壌汚染対策の研究	名古屋大学生命農学研究科 竹中 教授
B		少年・少女犯罪	少年サポートセンター
B		21世紀のコンビニと環境	株式会社ココストア
B	○	バイオテクノロジー	名古屋市科学館
B	○	どんなECOがあるの？	中部電力東区 本店（東邦ガス）
B		心・体のいやし ～ヒーリング～	J&Yヒーリング整体 浅井東洋鍼灸療院
B		死刑制度を通してみるいのち	名大法学部平川宗信研究室
B		医療ミス	徳川山クリニック
B		環境破壊が動物へ及ぼす影響	岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所
B		女性外来の必要性（心の悩みも含めて）	中部労災病院
B		死刑制度と死刑囚	アムネステイ・インターナショナル名古屋・栄グループ
B		動物の命	名古屋市動物愛護センター
B		絶滅危機の動物について	名古屋港水族館
B		動物の保護について	名古屋市動物愛護センター
B	○	環境にやさしい生活	浜島 鐘利（富木島小学校）
B		少年犯罪と心理	名古屋大学教育学部 本城研究室
B		未成年犯罪	あおば法律事務所
B	○	大気汚染	
B	○	タバコの煙による影響	名古屋大学医学部
B		BabyBaby里親制度・子供の気持ち	愛知県中央児童・障害者相談センター
B		骨髄バンク	名古屋市健康福祉局環境業務課

B		乗馬セラピーについて	日本ホリスティック協会
B		アニマルセラピー (動物と一緒にボランティア)	しのぎ動物病院
B		障害者と音楽	アンサンブル・アミー
B	○	代替エネルギー “バイオマス”	名古屋大学 (農) 森林化学 福島研究室
B	○	迫りくる東海地震	名大理学部地震火山研究センター
B		スポーツがあたえる人体への影響	井戸田整形外科 井戸田院長
B	○	新しいエネルギー開発	中部電力 名古屋支店
B		ガイドヘルパー 目のお仕事	福祉センター (友)
B		人間の誕生	岩田医院
B	○	スポーツカーが与える影響	CBC自動車学校
B		自動車の未来	名古屋市環境局交通公害対策課
B		薬の副作用の検査と処置	武田薬品工業名古屋支店名古屋学術グループ
B		ペットからうつる病気 (ズーノーシス)	本山動物病院

4. 研究集録作り

研究集録は生徒の個人研究の成果であり、しっかりと研究した生徒の原稿はページ数が多くなりがちとなる。またそうでない生徒の原稿は逆にページ数が少なくなる。学年団では、決められたページ数でこちらから形式を示し、内容の濃い集録になるように生徒に伝えた。形式は次のとおり。

テーマ

1. フィールドワーク先
2. はじめに (テーマ設定の理由)
3. 調べたこと
 - i
 - ii など
4. まとめ
5. 感想
6. 参考文献 (ホームページアドレスなど)

今回の研究集録はこのようなスタイルでまとめられている。

5. 2004年 紀要の原稿 中2 生命と環境ポスター作り (仲田)

生命と環境：バイリンガル・ポスター作り

総合人間科に関連して、英語の授業では2言語で自然の大切さをアピールするポスターを作った。生徒一人一人が総合人間科でこの一年間学んだことをテーマにしてコンピュータを使い、「花子」や「ハイパーキューブ・ペイント」などのソフトで画像を作成した。これらのバイ

リンガル・ポスターはとても上手にでき上がり研究集録の表紙を飾ることとなった。

6. まとめ

研究集録をまとめたあと、中学2年生全体で中学3年生の総合人間科の発表を聞く機会が得られた。中学3年生の研究テーマは「国際理解と平和」であり、広島をフィールドワーク先としたさまざまな発表が行われ、生徒は来年度は自分たちが広島に行くという期待と、上級生の発表に感心をもって来年度に最上級生となることを楽しみにしているようであった。

7. おわりに

今回の総合人間科は、林間学校が5月初旬に行われたため、林間学校を生命と環境に組み入れた。本格的な学習活動は9月からとなったため、前年度に学習したノウハウをできるだけ下地とし研究活動を行った。できるだけシンプルに総合人間科を進めたため、この科目に興味を持たない生徒と興味をもった生徒の活動に大きな差が出た。また、発表会では機材の準備不足などで保護者からの指摘もあるなど、課題が多く残った。しかし、このことが来年度の中学2年生に生かされるようにまたこの紀要が今後の参考となることを期待したい。

(文責：渡辺 武志)

8. 参考文献

1. 佐光美穂 他 2002 中学2年総合人間科の取り組み 生命と環境 ～生命と環境と私たちとのつながりを考える～ (名古屋大学教育学部附属中・高等学校紀要)
2. 名古屋大学教育学部附属中学校 (2003年度中学2年総合人間科研究集録 生命と環境)

